

Bayesian from Hospital to Home: Vancomycin and Aminoglycosides Therapeutic Drug Monitoring

耐性菌感染症の治療においては、バンコマイシンやアミノグリコシドの使用が必要となる場合があります。これらの薬剤に対する治療薬物モニタリング（TDM）の理解と実践が重要です。米国では2020年にバンコマイシンの新たなガイドラインが発表され、さらに2025年にはアミノグリコシドのガイドラインも発表される予定です。これら両方のガイドラインの著者の一人であるJennifer Le博士に、主要な推奨事項の紹介、これらの薬剤におけるTDMの実践的アプローチを解説いただきます。さらに、米国で先進的に取り組まれている在宅での静脈点滴療法についてもご解説いただき、そのメリットについてご紹介いただきます。

日時

8/19(火) 15:00~16:00

会場

国立成育医療研究センター 研究所
セミナールーム
ハイブリッド開催（現地開催+LIVE配信）
※後日オンデマンド配信あり

参加
費用

500円

講師

Jennifer Le博士

PharmD, MAS, FIDSA, FCCP, FCSHP
Professor of Clinical Pharmacy
University of California San Diego
Skaggs School of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences



お申込みは右のQRコードからお願いいたします
3日前までにセミナーへの参加URLをメールにて送付いたします。

